



西新潟中央病院

NST NEWS 第14号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2014年12月2日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1303

NST委員会からのお知らせ ～新たな経腸栄養剤～

今年も残すところあと一か月です。日々寒くなってまいりましたが、この季節にはお鍋ですね。お鍋は不足しがちな野菜がたくさん取れるのでとてもオススメです。お鍋のお供にぜひ群馬県産下仁田ネギをご賞味ください。



下仁田ネギ

さて、2014年は新たな医療用経腸栄養剤が2種類追加されました。大塚製薬株式会社から**ラコール®NF 配合経腸用半固形剤**、アボットジャパン株式会社から**エネーボ™配合経腸用液**が発売されています。今回は11月から院内採用となりましたエネーボ™配合経腸用液を紹介させていただきます。

・エネーボ™配合経腸用液の特徴

金色の容器が目につく半消化態栄養剤、エネーボは1缶250mlあたり300kcal、タンパク質の配合比率が高く**分岐鎖アミノ酸 (BCAA)**、すなわちバリン・ロイシン・イソロイシンが強化されています。BCAAはヒトの体内で合成できないアミノ酸であり、筋肉でタンパク質を合成するとともに、筋肉のタンパク質分解を抑制する働きがあります。術後などの異化亢進時や筋力が低下する高齢者ではBCAAの比率を高める必要があります。



・経腸栄養剤初の栄養成分を配合

また、医薬品の経腸栄養剤として初めてとなる栄養成分として、抗酸化作用のある**セレン**や脂質代謝に関与する**カルニチン**の他に、整腸作用が期待できる**フラクトオリゴ糖**、糖代謝に関連する**クロム**、酵素の構成要素である**モリブデン**、脂質の消化・吸収に関与する**タウリン**が配合されています。

現在はバニラ味のみが発売となっていますが、エンシュアと比べると後味がスッキリしていて飲みやすいと評判です。術後や高齢の患者さんへの経腸栄養剤でお困りの際はぜひお試しください。

※画像は下仁田町 HP、アボットジャパン HP より引用

(文責：薬剤科 小金澤佑太)

第68回国立病院総合医学会について

11月14日～15日、パシフィコ横浜にて第68回国立病院総合医学会が開催されました。参加・発表された皆様お疲れ様でした。

また、ベストポスター賞を受賞された皆様おめでとうございます。NSTも業務・研究の成果を積極的に院外に発信していきたいと思っております。



千住博先生の特別講演